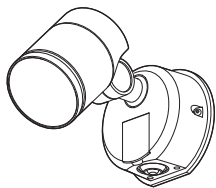


取扱説明書

住宅用照明器具 (FreePa スポットライト)

保管用

施工説明書別添付



品番 LSPSC100LCE1
LSPSC101LCE1



お願い 施工時、使用の前に検知範囲、お出迎え時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。

お客様へ このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1~2ページ)を必ずお読みください。この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。
LEDフラットランプには、取扱説明書(保証書付)が付属されております。LEDフラットランプの取り扱いや
保証とアフターサービスについては、LEDフラットランプ付属の取扱説明書をご確認ください。

注) この商品は人を検知して、フラッシングで人を威嚇する機能を持っていますが、侵入、盗難を確実に
阻止する商品ではありません。発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店または
別紙お客様相談窓口にご相談ください。
- ランプは器具表示のものを使用する
間違った種類、ワット数のランプを使用すると、
火災のおそれがあります。
- フランジカバーは必ず取り付け使用
フランジカバーを外したまま使用すると水が
侵入し、感電・故障の原因となります。
- カバーは確実に取り付け
締め付けが不完全な場合、落下によるけがや
浸水による火災、感電のおそれがあります。

必ず守る



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれが
あります。



禁止

- アルカリ系洗剤は使用しない
守らないと、強度低下により破損し、
落下するおそれがあります。



必ず守る

- 照射方向を調整したあとは、
必ず固定ネジを増し締めする
締め付けが不完全な場合、浸水による火災、
感電のおそれがあります。



注意

- 照明器具には寿命があります。設置して10年
経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は
進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに
火災、感電、落下などに至る場合があります。
- ◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき
自主点検してください。
- 器具の取り外しは販売店、工事店に依頼する
器具の取り外しには資格が必要です。

必ず守る



必ず守る

- ランプ交換、お手入れの際は、電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となることが
あります。



禁止

- 器具に直射日光が当たる状態で点灯させない
温度上昇による器具の短寿命や一時的な明るさ
低下・不点灯の原因となることがあります。
- 可動範囲を越えて灯具を無理に動かさない
器具破損の原因となることがあります。

⚠ 注意



禁止

- LEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。
- 可動部のスキマに指を入れない
けがの原因となることがあります。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
- ◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

各部のなまえとはたらき

各部のなまえ

調整ツマミの設定はフランジカバーを外して行ってください

- カバーの外しかたは
☞ 6ページ「ランプを交換する」参照

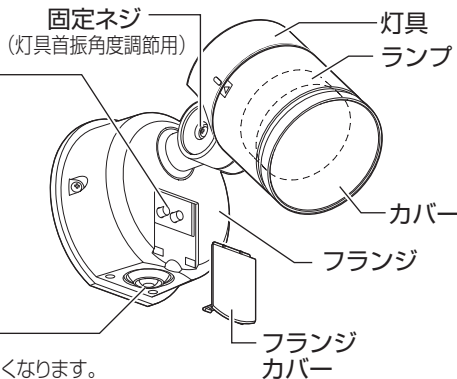
調整ツマミ

使いかたに合わせて、調整してください。(☞ 4～5ページ参照)

検知部

- ・周囲の明るさを検知する「明るさセンサ」と、人の動きによる温度変化を検知する「人センサ」が内蔵されています。
- ・全方向に約20度動きます。
- ・連続点灯中は赤く点灯※します。

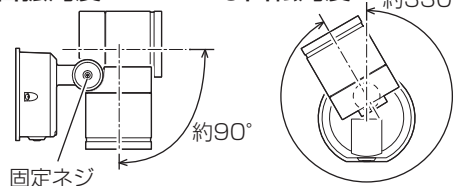
※)周囲が明るい場合は検知部の点灯が見えにくくなります。



<灯具の可動範囲について>

●首振角度

●回転角度



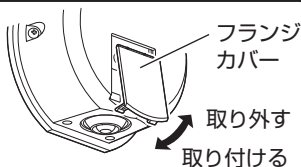
- ・首振角度を調節するには固定ネジを緩めてください。(緩めすぎると固定ネジが外れますのでご注意ください。)

⚠ 警告

首振角度を調整したあとは、必ず固定ネジを増し締めする締め付けが不完全な場合、浸水による火災、感電のおそれがあります。

<フランジカバーの取り外し・取り付けかた>

フランジカバーは必ず取り付けて使用してください。
フランジカバーを外したまま使用すると水が浸入し、感電、故障の原因となります。



調整ツマミのはたらき

●「点灯する周囲の明るさ」ツマミ

周囲がどれくらい暗くなったら、「昼間の動作」から「夜間の動作」に切り替えるかを調整します。
・右に回すほど、明るいうちから動作するようになります。
・昼間など明るいうちから動作させたい場合は、「明」に合わせてご使用ください。

注)「テスト」に合わせると、周囲の明るさに関係なく動作するようになります。
人が検知範囲から外に出てから約5秒後に消灯し、検知範囲を確認するときのテストモードとなります。

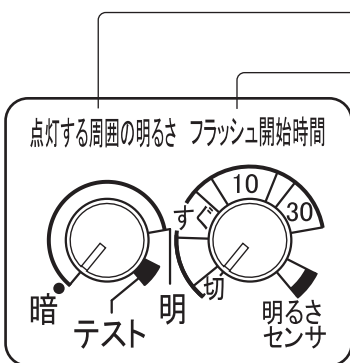
●「フラッシュ開始時間」ツマミ

防犯すぐモード、防犯設定時間後モード(☞ 3、4ページ参照)で使用时、検知範囲に人が入って、どれくらい経ってから照明をフラッシングさせるかを調整します。

・「すぐ」、「10」秒後、「30」秒後から選べます。

ON/OFFモード(☞ 3、5ページ参照)で使用するときは「切」に設定します。

明るさセンサモード(☞ 3、5ページ参照)で使用する場合は「明るさセンサ」にします。



センサの検知範囲

- センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。(センサの検知部は全方向に約20度動きます。)

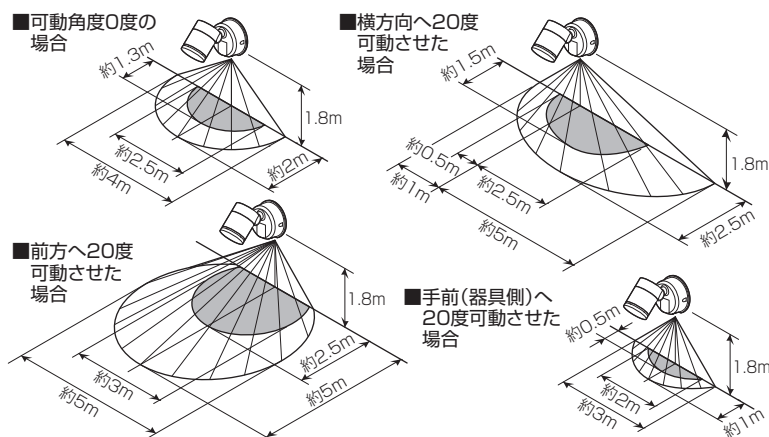
- 器具の取り付け高さ1.8m(標準)～3mの間では、検知範囲は変わりません。

で注意

- ・この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車、換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
- ・検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
- ・夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
- ・センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがあります。器具の故障ではありません。

検知範囲

(注) ●は別売エリアカットフード(HK279020)を取り付けた時の検知範囲です。



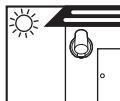
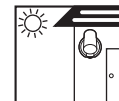
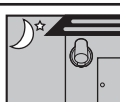
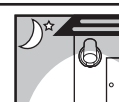
センサによる点灯

- 壁スイッチは常時ONで使用してください。センサのはたらきにより、自動的に点灯、消灯します。
- ご使用前に、使いたい点灯動作に合わせて、器具本体に内蔵している調整ツマミを設定してください。センサによる点灯動作は、「防犯すぐモード」、「防犯時間設定後モード」、「ON/OFFモード」、「明るさセンサモード」4種類のいずれかから選べます。

普段、家族があまり通らない暗がりや家の死角の防犯に使いたい

→ 防犯すぐモード の動作説明

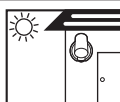
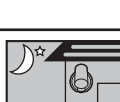
調整ツマミの設定方法 ④ 4ページ

周囲が明るいとき 昼間の動作		▶		▶	
周囲が暗いとき 夜間の動作		▶		▶	

家族が行き来する屋外や勝手口などの防犯に使いたい

→ 防犯設定時間後モード の動作説明

調整ツマミの設定方法 ④ 4ページ

周囲が明るいとき 昼間の動作		▶		▶	
周囲が暗いとき 夜間の動作		▶		▶	

(注1) 人がいなくなって約1分間経過しないと、次回の警告動作を開始しません。

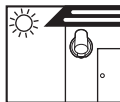
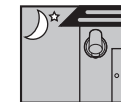
(注2) 周囲が明るい場合は検知部の点滅が見えにくくなります。

(注3) 検知範囲内を人が素早く通り過ぎたり、静止したままではフラッシングを開始しません。

照明をフラッシングさせないで、普段の生活の明かりとして使いたい

→ ON/OFFモード の動作説明

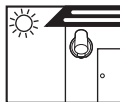
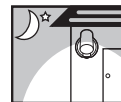
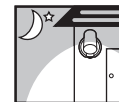
調整ツマミの設定方法 ⑤ 5ページ

	▶		▶		▶	
---	---	---	---	---	---	---

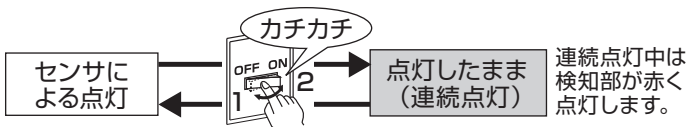
まわりが暗い間はずっと点灯させて使いたい

→ 明るさセンサモード の動作説明

調整ツマミの設定方法 ⑤ 5ページ

	▶		▶	
---	---	---	---	---

人がいない時も点灯したままにする(連続点灯)



- 切り替えかた
壁スイッチがONの状態から素早く(約1秒以内に)OFF→ONにする
- センサによる点灯に戻す
再度、壁スイッチがONの状態から素早く(約1秒以内に)OFF→ONにする
- 壁スイッチ1個で2台以上のセンサ照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

メモ

- ツマミで設定した明るさより周囲が暗いときだけ点灯状態を切り替えることができます。
- 連続点灯のままにいても、朝になって周囲が明るくなると自動的に消灯します。再び暗くなるとセンサによる点灯に戻ります。
- 日中も暗い場所や天候の影響で周囲が暗い場合、朝になっても消灯しないことがあります。最長15時間でセンサでの点灯に戻ります。
- 約1秒以内の短い停電が起こった場合には、意図せず点灯状態が切り替わることがあります。
- 周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦壁スイッチをOFFにしてください。
- 周囲が明るい場合は検知部の点灯が見えにくくなります。

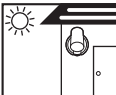
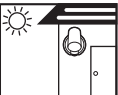
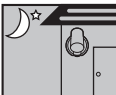
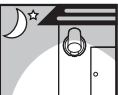
普段、家族があまり通らない暗がりや家の死角の防犯にしたい

→ 防犯すぐモード の動作説明

周囲が明るいとき 昼間の動作	 昼間、明るいときは 消灯	▶	 人が近づくとすぐに フラッシング	▶	 約10秒間フラッシング した後、消灯(注1)	
周囲が暗いとき 夜間の動作	 消灯	▶	 人が近づくとすぐに フラッシング	▶	 約10秒間フラッシング した後、点灯したままに	▶  人がいなくなって 約1分後、消灯

家族が行き来する屋外や勝手口などの防犯にしたい

→ 防犯設定時間後モード の動作説明

周囲が明るいとき 昼間の動作	 昼間、明るいときは 消灯	▶	 人が近づいても照明は 消灯したまま (検知部が赤く点滅(注2))	▶	 人が約10秒間、または約30秒 間、検知範囲内で動き続けると フラッシング(注3)	▶	 約10秒間フラッシング した後、消灯(注1)		
周囲が暗いとき 夜間の動作	 消灯	▶	 人が近づくと照明が 点灯	▶	 人が約10秒間、または約30秒 間、検知範囲内で動き続けると フラッシング(注3)	▶	 約10秒間フラッシング した後、点灯したままに フラッシング(注3)	▶	 人がいなくなって 約1分後、消灯

(注1) 人がいなくなって約1分間経過しないと、次の警告動作を開始しません。

(注2) 周囲が明るい場合は検知部の点滅が見えにくくなります。

(注3) 検知範囲内を人が素早く通り過ぎたり、静止したままにいる場合にはフラッシングを開始しません。

調整ツマミの設定方法

以下の手順で設定してからご使用ください

1 壁スイッチをOFFにする

2 フランジカバーを取り外す

☞ 2ページ「各部のなまえ」参照

3 「点灯する周囲の明るさ」ツマミで どれくらい周囲が暗くなったら、 「昼間の動作」から「夜間の動作」 に切り替えるか を設定する



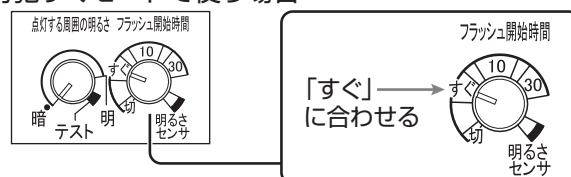
● 明(右方向)に回すほど、明るいうちから「夜間の動作」になります。

(注) 「テスト」に合わせた状態で使用しないでください。

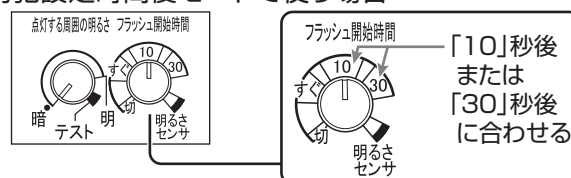
「防犯すぐモード」、「防犯設定時間後モード」が正常に動作しません。

4 「フラッシュ開始時間」ツマミで 検知範囲に入って、どれくらい経ってから 照明をフラッシングさせるか を設定する

■防犯すぐモードで使う場合



■防犯設定時間後モードで使う場合



5 フランジカバーを取り付ける

☞ 2ページ「各部のなまえ」参照

6 壁スイッチをONにする

→ 壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

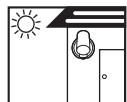
● 壁スイッチは、常時ONでお使いください。

調整ツマミを設定する

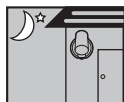
ON/OFFモード で使用する場合

照明をフラッシングさせないで、普段の生活の明かりとして使いたい

→ ON/OFFモード の動作説明



昼間、明るいときは
消灯



周囲が暗くなっても
人がいないときは消灯



人が近づくと照明が
点灯



人がいなくなると
約1分後、消灯

調整ツマミの設定方法

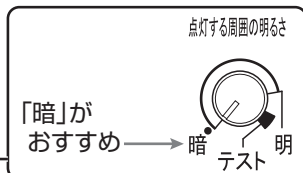
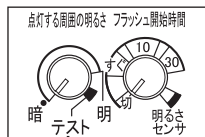
以下の手順で設定してからご使用ください

1 壁スイッチをOFFにする

2 フランジカバーを取り外す

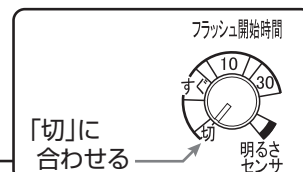
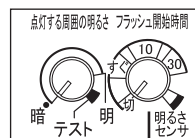
☞ 2ページ「各部のなまえ」参照

3 「点灯する周囲の明るさ」ツマミで どれくらい周囲が暗くなったら、 人が近づいたとき点灯させるか を設定する



- 明(右方向)に回すほど、明るいうちから人が近づいたときに点灯します。
- 「テスト」に合わせると、明るさに関係なく人が近づいたときに点灯します。

4 「フラッシュ開始時間」ツマミを 「切」に設定する



5 フランジカバーを取り付ける

☞ 2ページ「各部のなまえ」参照

6 壁スイッチをONにする

→ 壁スイッチをONにした直後は、
周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

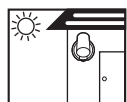
- 壁スイッチは、常時ONでお使いください。
- 周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦壁スイッチをOFFにしてください。

調整ツマミを設定する

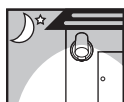
明るさセンサモード で使用する場合

まわりが暗い間はずっと点灯させて使いたい

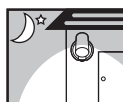
→ 明るさセンサモード の動作説明



昼間、明るいときは
消灯



周囲が暗くなると
自動的に点灯



暗い間は人がいても
いなくてもずっと点灯

調整ツマミの設定方法

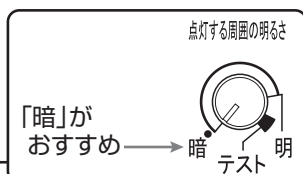
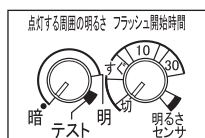
以下の手順で設定してからご使用ください

1 壁スイッチをOFFにする

2 フランジカバーを取り外す

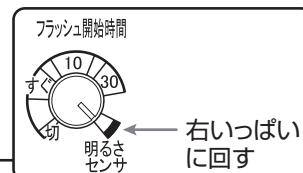
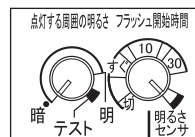
☞ 2ページ「各部のなまえ」参照

3 「点灯する周囲の明るさ」ツマミで どれくらい周囲が暗くなったら、 点灯が始まるか を設定する



- 明(右方向)に回すほど、明るいうちから「夜間の動作」になります。
- (注) 「テスト」に合わせた状態で使用しないでください。
「明るさセンサモード」が正常に動作しません。

4 「フラッシュ開始時間」ツマミを 右いっぱい回し「明るさセンサ」に設定する



5 フランジカバーを取り付ける

☞ 2ページ「各部のなまえ」参照

6 壁スイッチをONにする

→ 壁スイッチをONにした直後は、
周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

- 壁スイッチは、常時ONでお使いください。
- 周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦壁スイッチをOFFにしてください。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。
- ランプはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- ランプを交換しても点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。
- ランプの機能に関するお取扱いや仕様は、ランプの取扱説明書をご確認ください。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

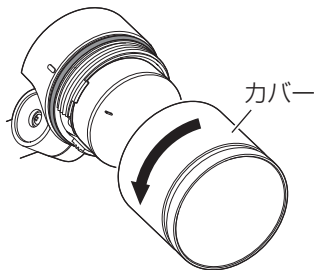
- ランプの明るさが低下するとランプの寿命です。ランプを交換してください。
- 交換ランプは取り外したランプの背面表示をご確認ください。
- パナソニック製ランプとの交換を推奨します。同じ種類、ワット数のランプでおすすめ以外のものを使用された場合、短寿命・故障の原因となる場合があります。また、保証の対象外となります。
- ご使用以外のランプに交換される場合は、器具に適合するランプであることをご確認ください。
適合するランプは、適合ランプ表をご確認ください。



ランプの交換方法

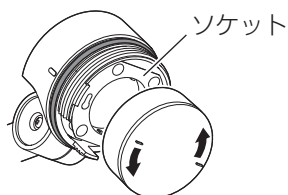
1 カバーを取り外す

- ・カバーを矢印方向に回して外す。



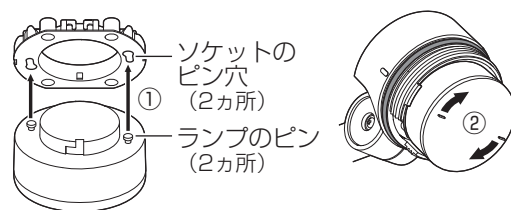
2 ランプを取り外す

- ・カチッと音がするまでランプを矢印方向に回す。(回転角度約15°)



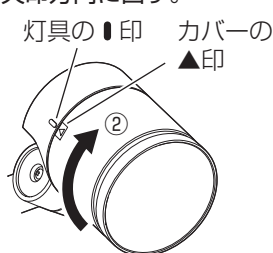
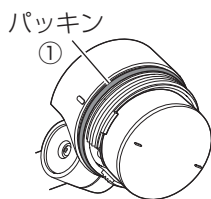
3 新しいランプを取り付ける

- ①ソケットのピン穴にランプのピンを入れる。
- ②カチッと音がするまでランプを矢印方向に回し、確実に取り付ける。(回転角度約15°)



4 カバーを取り付ける

- ①パッキンが灯具のネジ部の根元まではまっていることを確認する。
- ②カバーを灯具にねじ込み、灯具の●印にカバーの▲印がくるまでカバーを矢印方向に回す。



警告



カバーは確実に取り付ける
締め付けが不完全な場合、
浸水による火災、感電の
おそれがあります。

■適合ランプ表

	適合ランプ (別売)	LDF8まで
LEDフラットランプφ70 口金: GX53-1 外径: 70mm 起動方式: CB1	LLD (2000・4000・2000M・4000M) (L・V・N) CB1 LLD (2020・3020・2020M・3020M) (L・V・N) CB1	

- 最新の適合ランプ情報は、Webサイトをご参照ください。

■LEDフラットランプ適合サイト

<https://www2.panasonic.biz/ls/lighting/home/tools/search/flat-lamp/>



お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的 (6カ月に1回程度) に清掃してください。
- 検知部 (※2ページ「各部のなまえ」) が汚れますと、センサの感度が鈍くなります。定期的 (6カ月に1回程度) にやわらかい布で清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジン、アルカリ性洗剤などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 置	参照ページ
各モード共通			
センサの検知範囲に人がいるのに照明が点灯(またはフラッシング)しない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする。	—
	人が静止している	静止している人は検知しません。	2ページ 「センサの検知範囲」
センサの検知範囲に人がいないのに照明が点灯(またはフラッシング)する(検知部は赤く点灯*していない)	検知範囲に人以外の熱源がある 例)換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機、風などでよく揺れるもの、車の熱やヘッドライト、動物、雨、雷など	センサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため人以外の熱源でも点灯(またはフラッシング)する場合があります。(故障ではありません)	2ページ 「センサの検知範囲」
センサの検知範囲に人がいないのに照明が点灯する(検知部は赤く点滅*している)	電源を投入した直後である	電源を投入した直後、約40秒間は必ず点灯します。	—
	停電から回復した直後である		
センサの検知範囲に人がいないのに点灯している(検知部が赤く点灯*している)	壁スイッチを意図せず操作して、連続点灯に切り替わっている	壁スイッチを素早くOFF→ON(約1秒以内)にすると、センサでの点灯に戻ります。(検知部が赤く点灯*しているのが消えます)	3ページ 「人がいないときも点灯したままにする(連続点灯)」
	短い停電により、意図せず連続点灯に切り替わっている		
人が近づいても検知にくい	検知範囲が適切でない	検知範囲を調整する。	2ページ 「センサの検知範囲」
	検知部に汚れや水滴などが附着している	検知部をやわらかい布などでふく。	6ページ 「お手入れについて」
	検知にくい条件となっている	故障ではありません。	2ページ 「センサの検知範囲」
点灯保持時間が短い	点灯する周囲の明るさ調整ツマミが「テスト」になっている	ツマミを一旦左いっぱい回して「テスト」の位置以外で使用する。	2ページ 「調整ツマミのはたらき」

※)周囲が明るい場合は検知部の点灯・点滅が見えにくくなります。検知部を手で覆うなどして確認してください。

防犯すぐモードで使用している場合

一度フラッシングした後、検知範囲内で人が動き続けても、照明がフラッシングしない	フラッシングした後も、検知範囲内に居続けた	一度フラッシングすると、一旦検知範囲から外に出て、約1分間経過しないと、再びフラッシングしません。	4ページ 「調整ツマミを設定する」
周囲が明るいのに人が近づくとフラッシングする	「防犯すぐモード」で使用している場合は、周囲が明るいときも人が近づくとフラッシングします。		

防犯設定時間後モードで使用している場合

検知範囲を人が通ったのに照明がフラッシングしない	検知範囲を素早く通り過ぎた	検知範囲を素早く通り過ぎた場合は、設定時間を過ぎても、照明はフラッシングしません。	
一度フラッシングした後、検知範囲内で人が動き続けても、照明がフラッシングしない	フラッシングした後も、検知範囲内に居続けた	一度フラッシングすると、一旦検知範囲から外に出て、約1分間経過しないと、再びフラッシングしません。	4ページ 「調整ツマミを設定する」
周囲が明るいのに人が近づくとフラッシングする	「防犯設定時間後モード」で使用している場合は、周囲が明るいときも設定時間、器具の検知範囲内で動きつづけるとフラッシングします。		

ON/OFFモードで使用している場合

周囲が明るいのに人が近づくと照明が点灯する	点灯する周囲の明るさツマミが「テスト」または「明」になっている	点灯する周囲の明るさツマミを「暗」の方向に回す。	5ページ 「調整ツマミを設定する」
センサの検知範囲に人がいるのに照明が点灯しない	点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさより、周囲が明るい	点灯する周囲の明るさツマミを「明」の方向に回す。	

明るさセンサモードで使用している場合

周囲が明るいのに照明が点灯する	点灯する周囲の明るさツマミが「テスト」または「明」になっている	点灯する周囲の明るさツマミを「暗」の方向に回す。	5ページ 「調整ツマミを設定する」
-----------------	---------------------------------	--------------------------	----------------------

上記の処置を行っても現象が続く場合

- ①電源をいったん切る
- ②約10秒以上経ってから再び電源を入れる

●上記の点検でなお異常がある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、別紙ご相談窓口にご相談ください。

仕様



器具の品番をご確認いただき、品番にチェックをしてください。

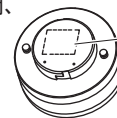
器具品番	器具色	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	付属ランプ	使用環境
☐ LSPSC100LCE1	オフブラック	AC100V	50/60Hz 共用	5.9W (センサ待機時 1W以下)	0.10A	LLD2000LCB1 (口金：GX53-1) (電球色)	屋外用
☐ LSPSC101LCE1	プラチナメタリック						

●ランプの寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) ランプの寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間、または全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

●ランプ、および器具本体の取扱説明書をよくお読みください。

●ランプの取扱説明書には保証書が付いております。大切に保管してください。

●ランプの種類はランプの背面表示でご確認ください。



ランプ
背面表示

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

●保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料

診断・修理・調整・点検などの費用

部品代

部品および補助材料代

出張料

技術者を派遣する費用

●アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製 品 名 住宅用照明器具

●品 番 上記「仕様」をご参照ください。

●故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Corporation 2022

LSPSC100LCE1-T4A

N0422-00